

親潮

学校スローガン
自分を信じ、仲間を信じ、共に
『いい声』『いい汗』『いい笑顔』

発行者 校長 藤井 薫
平成28年 1月29日 第13号
ブログ <http://b-school.jp/blog/snotuke/index.php>

次年度に向けて

校長 藤井 薫

今年度も残すところ、2か月を切りました。学校としても次年度に向け、今年度の生徒・保護者の皆様の学校評価アンケートや授業評価アンケートの結果などを基に、より良い野付中を目指した次年度に向けた様々な学校改善プランを協議し始めております。

その様な中で、右の新聞記事が目にとまりました。記事の内容は要約すると次の様な内容でした。



【稚内市立稚内中学校（全校生徒131名）ネット間の生徒同士のトラブルをきっかけに、保護者と学校が一体になってスマホや携帯を持たせない様な呼びかけを広めた結果、スマホや携帯を持たない生徒が七割を超え、それと共に生徒間のトラブルの減少と学力の向上が明確になった】という内容です。

当たり前と言ってしまうかもしれませんが、帰宅して家で普段過ごす時間は限られておりますので、メディア使用時間と家庭学習時間や家族で過ごす時間は有限です。どれかが突出して長ければどれかが短くなるのは当然です。

本校の実態は・・・

また、誰も出来ることなら、家族との時間や家庭学習の時間が充実して欲しいと思っている家庭は多いかもしれません。しかしながら本校の実態は、これまで何度も機会があるごとにお知らせしてきたとおり、中学生のメディア所持率は100%に近く、帰宅後のメディア使用時間も全国平均よりも長い傾向は明確です。しかしながらこの実態は地域事情やご家庭の状況もありますので、一概に否定されるべきものではありません。一切持たせないようにしようと言う事ではなく、使い方や持たせ方を含めて考えていく必要性があると思っています。

今後に向けて

保護者向けに今年度実施したメディアコントロールの幼小中研修会でも、一日にメディアに触れる時間は1時間30分以内を推奨するとの見解もあり、学力との密接な関係を指摘されております。そろそろ、本校としても具体的で根本的な方策を実施する事を考える時期が来ていると感じております。

その実現の為には、稚内中の実例を持ち出すまでもなく、メディアコントロールについては**保護者や家庭が主体となった学校との協力が不可欠**です。具体的には、学校生活においては、「授業の約束7か条」はありますが、PTA 活動や保護者の皆様が中心となって、メディアの使用時間や帰宅後の過ごし方などをまとめた「家庭生活の7か条」のようなものを学校と一緒に考えていければ良いのではと思っております。

この事については、中学校側が一方的に行う趣旨のものではありませんので、是非次年度の実現に向けて保護者・家庭の皆様と協議をしていく中で考えていければと思っております。また、それが将来的には尾岱沼地区の幼小中・12年の教育との連携に繋がることを願っております。

お知らせ

- ☆明後日1月31日(日)、東部地区スケート大会が行われます。午後からは校内長靴アイスホッケー大会も行います。毎年珍プレー・好プレーが続出しています。競技役員及び応援よろしく申し上げます。
- ☆2月8日(月)授業参観日を行います。既に案内文書は配布済みですが、2年生は修学旅行についての説明会も行います。

2月の行事予定

日	曜	行事等	日	曜	行事等
1	月	振替休業日(1/31)	16	火	貯金日
2	火		17	水	
3	水	学力テスト(全学年)	18	木	職員会議
4	木	スケート大会予備日、放課後学習	19	金	
5	金		20	土	週休日
6	土	週休日	21	日	週休日、英検③2次
7	日	週休日	22	月	朝会Ⅱ、放課後学習
8	月	朝会Ⅱ、授業参観日	23	火	職員会議
9	火	A L T 来校	24	水	委員会活動日
10	水		25	木	放課後学習
11	木	祝日(建国記念の日)	26	金	集金日、はくちょう号来校
12	金	はくちょう号来校、職員研修日	27	土	週休日
13	土	週休日	28	日	週休日
14	日	週休日	29	月	朝会Ⅰ、校内あいさつ運動
15	月	朝会Ⅲ、新入生体験入学、入学説明会、放課後学習			

ネット依存症の3タイプ

ネット依存症には大きく3つのタイプに分けられるそうです。次の文を読み、あてはまる番号に○をつけてみましょう。

テスト【A】

1. 仕事でも趣味でも、人より優位に立ちたい。(負けず嫌い)
2. 子供の頃からリーダータイプ。誉められることが大好き。
3. 好奇心が旺盛で、色々なことにチャレンジをしてきた。
4. 過去に熱中して今は止めてしまったことが3つ以上ある。
5. 不利だと分かっているにもかかわらず意地になってしまうことがよくある。

テスト【B】

1. 決められたことはきちんとやらないと気がすまない。
2. 規則正しい、あまり変化のない生活をしている。
3. 毎日ほぼ同じ時間にインターネットに繋ぐ。
4. 日々習慣にしていることがたまたまでもできない日があると気分が悪い。
5. 何かに夢中になることはあまりないが、コツコツと続ける。

テスト【C】

1. 今の自分に満足していない、もしくは劣等感をもっている。
2. 他人に意見をされると、とても傷つく
3. 家庭や職場など、人間関係がうまくいっていない。
4. 自分は被害者だと思う。
5. 孤独を感じる。

(出典： どうしてあの人はネット依存性になったのか？ あなたに忍び寄るネット依存症)

テスト【A】で3つ以上○がついた人⇒『熱中型』

負けず嫌いなため、ネットに夢中になっている時は、周囲の声も届きません。特に自己コントロール力の未熟な人が陥りやすい。

どうしたらいい？⇒飽きるまでインターネットをやってみる、インターネット以外で夢中になれる趣味を見つけることが大切！

テスト【B】で3つ以上○がついた人⇒『習慣型』

「メールを定期的にチェックしないと不安」、「帰宅が遅くなっても、ネットゲームをやらないと眠れない」などと依存度がかなり高く、依存症一步手前。

どうしたらいい？⇒このタイプの人には熱しやすく冷めやすいことから、一度期間を決めて、インターネットから離れる時間を取る時間が大切！

テスト【C】で3つ以上丸がついた人⇒『現実逃避型』

このタイプは3つのうち、最も「ネット依存症」の克服が難しいタイプ。現実の世界から逃避し、ひきこもりやニートになりやすい恐れあり。

どうしたらいい？⇒このタイプの対処法は、問題の根本原因を解決すること。きちんと問題に向き合わなければ、依存性の克服はできません。焦らず時間をかけ、自分は何から逃げようとしているのか、問題をじっくりと見つめることが大切です。